

東京4支部 2022年各支部定時総会・講演会 開催報告

東京連合支部では、令和4年6月4日(土)に市ヶ谷私学会館にて、コロナ禍のため開催を見合わせてきた「各支部定時総会と講演会」を3年ぶりに東京4支部合同で開催した。

都内の感染拡大が治まる気配が見えてきたものの、会員への感染防止を配慮し、残念ながら会食を伴う懇親会を控え、久々の対面での開催により旧交を深めた。但し、時節を憂慮された会員もおられ、参加者は少なめで、本部/他支部/大学の来賓を含め、総勢35名であった。

各支部定時総会は三上理事長にご挨拶頂いた後に、昨年度事業報告と今年度事業計画、並びに連合及び4支部の会計報告を出席者に審議頂き、承認を得た。

続いて、平塚前学長から、最近の理工学部組織、学生などの状況についてご説明頂いた。大きく変わる大学の状況に驚きとともに、感慨に耽った。また、倉林平塚支部長、小西さいたま支部長、小林前宇都宮支部長より、各支部の活動状況のご報告があり、支部活動のご苦勞、アイデアなどを共有した。

講演会ではエーザイ(株)の今井氏(60P)より「医薬品開発事例及び最近の医薬品開発事情の紹介」と題し、ご講演頂いた。医薬業界の新薬開発、製造の状況、ジェネリック医薬品の裏話など、興味深いお話を伺うことができた。企業の中で、個人の研究成果の特許化、学会発表などのありようなど、実体験に基づいた貴重なご講演であった。

都内はリバウンド警戒期間が解除され、飲食の制限も緩和されたため、講演会後は参加者各位の判断で懇親の場が持たれた。



懇親会後に講師を挟んで集合写真